# 平成２８年度　伊那市学校人権同和教育実践計画概要

**学校名**　　伊那市立西箕輪小学校

**テーマ**　　「さん」をつけて呼ぼう　・相手の顔を見て聞こう

| | 学年 | 人権課題（※1） | 扱う資料等 | 取組内容（箇条書で簡潔に） |
|---|---|---|---|---|
| 学年ごとの取り組み予定 | 1 | ①人権一般（コミュニケーション） | ・私たちの道徳<br>・私たちの道<br>・あけぼの | ・友だちと仲よく助け合って生活することの大切さを学ぶ |
| | 2 | ①人権一般（コミュニケーション） | ・私たちの道徳<br>・私たちの道<br>・あけぼの | ・友だちと一緒に活動することを楽しみ、友だちの良さを見つける。伊那養との交流 |
| | 3 | ①人権一般（コミュニケーション） | ・私たちの道徳<br>・私たちの道<br>・あけぼの | ・友だちの良さを見つけ合い伝え合う。<br>・様々な個性を認め合い、支え合う。伊那養との交流 |
| | 4 | ①人権一般（コミュニケーション） | ・私たちの道徳<br>・私たちの道<br>・あけぼの | ・友だちと考えを伝え合い、支え合う。伊那養との交流 |
| | 5 | ①人権一般（コミュニケーション） | ・私たちの道徳<br>・私たちの道<br>・あけぼの | ・相手の立場に立って考え、友だちとのよりよい関係を築く。伊那養との交流 |
| | 6 | ①人権一般<br>⑥同和問題 | ・私たちの道徳<br>・私たちの道<br>・あけぼの<br>・社会科の教科書資料集 | ・社会科江戸時代の身分制度学習・伊那養との交流 |
| 人権同和教育推進上の悩み | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | ①講師決定理由・人権課題<br>②工夫改善点<br>③取組内容・新たな取組等 |
| 児童 | 研修講演会 | テーマ/タイトル | 未定 | | | | | ①聴覚障害の方への理解を深める、聴導犬の役割を知る |
| | | 講師名・所属等 | 聴導犬協会の方 | | | | | |
| | アンケート等 | | QUｱﾝｹｰﾄ | 実施学年 | 全学年 | 実施回数 | ３回 | ②Q-U検査を通し、心配な子を早期発見。必要に応じて個別に懇談していく。 |
| | | | その他 | いじめのアンケート実施 | | | | |
| | 児童会の取組 | | 仲よく遊んでいる友だちの発見と紹介・なかよし学級（姉妹学級）での給食やワクチャレ祭の開催。仲良しの木の作成（なかよし友だち委員会） | | | | | |
| 保護者 | 研修講演会 | テーマ/タイトル | 未定（インターネットに関する内容） | | | | | ①中学校と連携し、隔年で開催今年は中学校が当番校になっている。 |
| | | 講師名・所属等 | 未定 | | | | | |
| | 家庭への発信・連携 | | ③CAPかたつむりさんを講師に、ワークショップの開催 | | | | | |
| 職員 | 研修講演会 | テーマ/タイトル | Q-Uを活かした学級経営 | | | | | ①QUの分析を活かした学級経営案を作成。今年度は学年経営案も作成していく。 |
| | | 講師名・所属等 | 原　一宏　（本校職員） | | | | | |
| | 校内組織の取組 | | ③Q-Uの分析の仕方、学級経営への活かし方など、抽出クラスをもとに研修する。<br>・11月の参観日に人権教育の授業を行う。実践事例を出し、残していく。 | | | | | |
| ○地域組織、他学校、福祉施設との交流・連携<br>○地域への発信等 | | | ②③伊那養護学校との年間を通して、学級ごと又は、全校にて継続した交流。<br>・西箕輪保育園・南部保育園との交流（5年生）<br>・大萱の里との交流（合唱団）<br>・民生委員の方との懇談（5月13日） | | | | | |

【※１】人権課題について（　下記から選んで記入してください。記入例「　④障害者　」　）
①人権一般（生命尊重、自尊感情、コミュニケーション能力等）　②女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）男女平等　③子ども（いじめ、こどもの権利等）　④高齢者　⑤障害者　⑥同和問題　⑦アイヌの人々　⑧外国人　⑨インターネット、携帯電話等による人権侵害　⑩HIV感染者、ハンセン病患者　⑪刑を終えて出所した人　⑫犯罪被害者　⑬北朝鮮当局による拉致被害者問題　⑭性的指向に関わる問題　⑮満州開拓団・中国帰国者　⑯東日本大震災